

長野県に滞在中の皆様へ
記録的な大雨を受けての知事メッセージ

長野県では、72時間降水量が観測史上1位を記録する箇所が多数あるなど、記録的な大雨となっています。

これまでに人的被害を含む被害が発生しており、木曾川、天竜川、犀川では、氾濫危険水位を超過しているところもあり危険な状況が続いています。各河川の流域を含め県全体では、現在、23市町村で避難指示が出ております。

前線は、18日頃にかけて日本付近に停滞する見込みで、総雨量はさらに増えるおそれがあります。観光客はじめ長野県に滞在中の皆様におかれましては、今後とも、気象台が発する情報に注意してください。

特に、木曾川及び天竜川流域においては、今後の雨の状況によっては、河川が急激に増水することもありますので、市町村の避難指示や宿泊施設からの情報提供等を踏まえ、ご自身の身を守る行動をお願いいたします。

現在、雨は小康状態にありますが、当分の間、河川の増水や土砂災害の危険度は高い状態が続きます。河川や崖など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。

自宅等に向かわれる際には十分に気をつけてお帰りください。

令和3年8月15日（日）

長野県知事 阿部 守一